

質問テーマ	市民からの質問	市の回答
管理・運営について	図書館の運営は直営か、委託か。	直営です。 職員の育成を行いながら責任をもって直営で運営していきたいと考えています。 ただし、単純作業的な定型業務などは委託化を検討していきます。
	運営に係るランニングコストはいくらかかるのか。	人件費を含め、運営には相当なコストがかかりますが、コストに見合うだけ市民の役に立つ施設にしていきたいと考えています。 現在、中央図書館をはじめとする市立図書館全体の運営費は約5億円です。
	館長の選任は始まっているのか。	まだです。公募で選任することも含め、現在検討しているところです。
	季節ごとに図書館の閉館時間を変えることは検討しているか。	通年での開館時間は、朝9時～夜10時までを想定しています。 季節ごとに閉館時間を変えることについては、利用の状況を見ながら柔軟に対応していきたいと考えています。
	市内の図書館を将来どうしていくのか、各館の役割分担など全体像がみえない。	豊橋全体の図書館像は、整備構想という形で平成17年度に作成しており、その時は、東西南北に4館程度の分館を設けることを想定していました。 今回整備するまちなか図書館、築50年経過した向山図書館の方向性、中央図書館のリノベーションの必要性などの要因があり、平成30年度には新たに基本構想を策定し、各館の個性等を明確にして市民の皆様にお示しいこうと考えています。
蔵書について	蔵書数が少ない。	中央図書館より蔵書数は少ないですが、本だけでなく、そこで活動する人も資料となるような、従来にない新しいスタイル、サービスを提供していきたいと考えています。 ただし、基本的な図書館サービスはまちなか図書館でも提供していきます。

質問テーマ	市民からの質問	市の回答
蔵書について	<p>蔵書のジャンルや内容は、中央図書館にある本がここで読めるのか、中央図書館にない本がここで読めるのか。</p>	<p>蔵書はこれから検討していきますが、基幹である中央図書館とは位置づけが異なることから、ある程度差別化を図っていく予定です。</p>
	<p>専門図書は置くのか。学術的なものも置く予定なのか。</p>	<p>ラーニング・クリエイティブゾーンなどで「専門書」を置くこととしていますが、ここで言う「専門書」は、学術書というよりは特定の分野という意味で使っています。</p>
	<p>電子書籍の導入は検討しているか。</p>	<p>積極的に検討していきたいと思います。</p>
サービス内容について	<p>従来の図書館は静かなイメージで、赤ちゃんを連れていきづらいが、そこへの配慮はあるのか。</p>	<p>色んな人が集まって議論したり、ワークショップを開催するなど、積極的に人と人とが交流できる機会を設けていきたいため、まちなか図書館は、ある程度、声や音を許容する図書館にしていきます。</p>
	<p>まちなか図書館の情報発信の考え方について。</p>	<p>従来のやり方にとらわれることなく、様々な媒体を活用して情報発信をしていきたいと考えています。</p>
	<p>書店のデータベースをまちなか図書館で見られるようにするなど、駅周辺の書店との連携を考えているか。</p>	<p>今後、費用面を考慮しながら検討していきますが、中心市街地エリアにある図書館としての特性を活かし、まちなかのお店などの情報は発信していきたいと考えています。</p>
	<p>リラクゼーションゾーンの仕切られたスペースや大階段、アクティブゾーンといったスペースは、予約だけで利用できるのか、利用は有料なのか。</p>	<p>予約制にすることを考えています。 利用料金を徴収することについては、図書館法との兼ね合いもあり、その手法も含めて今後検討していきたいと考えています。</p>

質問テーマ	市民からの質問	市の回答
サービス内容について	市内の大学図書館の蔵書（専門書など）をまちなか図書館で読んだり貸りたりすることができるような連携は考えているか。	大学図書館との話し合いの機会があるので、まちなか図書館での連携についても取りあげていきたいと考えています。
	中央図書館では、何か月も貸出中で館内で読めない本がある。 人気のある本などは館内閲覧のみの本も置くようにしてはどうか。	そうした方法も含め、どのような対応が可能かどうか検討していきます。
	ラーニング・クリエイティブゾーンが、どういうふうに使われるのかイメージしづらい。	わかり易く特徴を出すためにゾーン分けをしていますが、イベント開催時などを除き、基本的にはどの場所でも自由に本を読むことが可能です。 その中でラーニング・クリエイティブゾーンの特徴として、情報機器を使えるということがあり、例えば、駅前という利点も活かして、他の施設で行っているサービスや講座をまちなか図書館で体験できる機会を設けることも想定しています。
	PLATやここにこからまちなか図書館への移動手段はどう考えているのか。 各施設をまわる周遊バスを運行する予定はあるか。	周遊バスを運行する予定はありません。 徒歩で移動しやすい環境づくりに努めていきたいと考えています。

質問テーマ	市民からの質問	市の回答
施設・設備について	グローアップゾーンには学生が勉強できる場所が少ないと感じる。	色々なゾーンがありますが、厳密に利用者・利用用途によって区分されるのではなく、普段はどこでも自由に使うことになります。また、図書館の利用用途によって利用時間を分けるなど、タイムシェアでの利用についても検討していきたいと考えています。
	可動式書架の地震対策は。	地震への備えとして、何らかの対策を考えていきます。
	図書館部分にある屋外テラスの活用方法は。	テラスは図書館専用での使用を予定しています。図書館から出入りできるようにし、テラスでの読書も可能にしたいと考えています。
	オープンなスペースが多い印象だが、個室はないのか。	この図書館は人と人が交流する場でもあり、比較的音や声を許容するものとしているため、個室はできるだけ作らないようにしました。
	想定している座席数は。	概ね500席程度用意できたらと考えています。
	大階段の大型スクリーンに、スピーカーはつくのか。	スピーカーはつける予定です。ただし、常に音が出ている状態は考えていません。
	大型モニターにはどんな映像を移せるのか。例えばパソコンを接続し、その映像を映すことができるのか。	パソコンを接続し、大きな講演会やプレゼンテーションができるよう対応していきたいと思います。

質問テーマ	市民からの質問	市の回答
施設・設備について	非常出口・非常階段はあるのか。また、通常は使えるのか。	あります。 ただし、通常時は施錠するため使用できません。
	カフェは設けるのか。	利用者にくつろいだ時間を過ごしてもらえるよう、カフェを設ける予定です。
	飲食の持ち込みはできるのか、また、持ち込んだものを飲んだり、食べたりするスペースはどこに設けるのか。	飲食の持ち込みは可能にしていく予定ですが、飲食可能な範囲など、詳細については今後検討していきます。
	男性も周囲に遠慮なく赤ちゃんのオムツ替えやミルクをあげられるように配慮してほしい。	基本設計でも配慮してきたポイントですが、実施設計ではさらに細かく対策を検討していきます。
	特色のある5つのゾーンに対して、照明のデザインがどのゾーンも似たような仕上がりとなっているが、ゾーンごとに違いはないのか。	場所や用途に応じた照明になるよう、実施設計で詳細に検討することとしています。
	手荷物などを入れておけるロッカーは設置する予定か。	ロッカーの設置については、今後検討していきます。

質問テーマ	市民からの質問	市の回答
駐車場・駐輪場について	図書館の利用者の駐車場は有料か無料か。	図書館利用者の駐車場は駅前大通公共駐車場とパーク500を想定しており、駐車場の一定時間無料サービスを検討していきたいと考えています。
	施設内に利用者用の駐輪場はあるのか。置ける台数は。	施設西側の1階部分に利用者用の駐輪場を設けています。再開発ビルの利用者分と合わせて250台を予定しています。
施設名称について	まちなか図書館（仮称）とあるが、まちなか図書館の名称はどうなるのか、またどう決めるのか。 例えばネーミングライツの活用は？	名称については、「こども未来館 ここにこ」のように公式な名称と市民に愛されるような愛称を決めていきたいと思います。 名称の公募や決定方法については今後検討していきます。
事業費について	現段階で総事業費が35億円から変更になる予定はありますか。	現段階で変更の予定はありません。
	総事業費35億円のうち保留床の購入費用はいくらですか。	約21億円を予定しています。
再開発ビルの設計変更に伴う影響について	再開発ビルの設計変更に伴い、図書館部分の面積や整備費に変更はあったのか。	特に変更はありません。